



新型アストンマーティン Vantage GT3、 IMSA でメジャー初タイトルを狙う

- 新型アストンマーティン Vantage GT3 が、今週末ロード・アトランタにて開催される IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権最終戦プチ・ル・マンの GTD Pro クラスでタイトルを狙う
- アストンマーティンとパートナーチームの Heart of Racing は、この3年間で2度目の IMSA タイトルを目指す
- アストンマーティンのワークスドライバーであり、これまで IMSA クラスレースで複数回の優勝経験があるロス・ガンが IMSA の GTD Pro 優勝を目指す
- Heart of Racing はロード・アトランタで GTD Pro クラスに2台の Vantage GT3 を投入予定
- アストンマーティンはパートナーである Team TGM と共に、IMSA ミシュラン・パイロット・チャレンジのドライバーおよびチームタイトルの獲得を目前にしている



2024年10月9日、ジョージア州アトランタ（米国）：

新型アストンマーティン Vantage GT3 は、今週末開催のロード・アトランタでの IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権最終戦、プチ・ル・マン 10 時間レースに参戦します。メジャー初タイトル獲得を目指し、勢いは止まりません。

アストンマーティンの新型 **Vantage GT3** は、国際大会で輝かしいデビューシーズンを飾っています。6月には100周年記念大会となったクラウドストライク・スパ24時間レースで歴史的な勝利を収めました。これは、英国のウルトラ・ラグジュアリー・スポーツカー・ブランドであるアストンマーティンにとって近代のGTレースで初の快挙です。また、同月には日本で開催された **AUTOBACS SUPER GT** クラスで初優勝も飾りました。これに加えて、夏には **FIA** 世界耐久選手権、**IMSA**、ニュルブルクリンク耐久シリーズ、そして **ADAC GT** マスターズでもクラス優勝を果たしています。

そして今回、アストンマーティンはパートナーチームの **Heart of Racing** とワークスドライバーのロス・ガン（英国）と共に、土曜日開催の北米で最も重要な耐久シリーズの最終戦に参戦し、**GTD Pro** クラスでマニファクチャラー、チーム、そしてドライバーの首位を目指します。

米国を拠点とする **Heart of Racing** はロード・アトランタでさらに2台の新型 **Vantage GT3** を投入し、チームが一丸となってさらなる **IMSA GT** クラス優勝を土曜日に目指します。実現すれば、2022年にロマン・デ・アンジェリス（カナダ）と共に飾った **GTD** クラスでのドライバーおよびチーム優勝に次ぐ快挙となり、北米での **Heart of Racing** とアストンマーティンの唯一無二の素晴らしいサクセスストーリーに新たな1ページが加わることになります。

ドライバーのガンと **Heart of Racing** にとって今週末の目標は明確です。レースの優勝者には **350** ポイントが付与され、ポールポジションを獲得すればさらに **35** ポイントの加点があります。この中で、ライバルよりも **100** ポイント以上多くポイントを獲得する必要があります。アストンマーティンは **GTD Pro** クラスで最も高い成績を収めた **Vantage** チームのポイントを獲得できるが、シリーズリーダーよりも **123** ポイント多くポイントを獲得しなければなりません。

レギュラー **GTD Pro** 23号車のアストンマーティン **Vantage GT3** のドライバーは、ガン、アレックス・リベラス（スペイン）、2022年の **IMSA GTD** クラスの優勝者であるデ・アンジェリスの3名です。姉妹車の27号車 **Vantage** は通常であれば **GTD** クラスに参戦しますが、先月のインディアナポリスでの6時間レース同様、**GTD Pro** クラスに変更となり、重要なマニファクチャラーポイントを獲得できる資格があります。この姉妹車のドライバーは、プチ・ル・マンで2度のクラス優勝を誇るマリオ・ファーンバッハー（ドイツ）、ザック・ロビション（カナダ）、そして3度の **FIA GT** 世界チャンピオンであるマルコ・ソーレンセン（デンマーク）です。

この変更により、**Magnus racing** の新型アストンマーティン **Vantage GT3** のみが **GTD** クラスに参戦する唯一のアストンマーティン車となります。同車は、2月の正式発表に先立ち1月にデイトナで開催されたシリーズ開幕戦のロレックス24時間レースで華々しい国際戦デビューを飾りました。

米国ユタ州を拠点にする **Magnus Racing** は **IMSA** の長距離耐久レースにのみ参戦しており、プチ・ル・マンに **2010** 年に初参戦して以降、同レースで **4** 度表彰台に立っています。今回 **Magnus Racing** は **Vantage** と共に、チームオーナーであるジョン・ポッターと、同じく米国人のアンディ・ラリー、スポンサー・パンペリーのために、初となるクラス優勝を目指しています。

新型 **Vantage GT4** は今週末、ロード・アトランタでのデビューを飾ります。同車はすでに、**2024** 年から **AMR** パートナーチームとなった **Rebel Rock Racing** と共に **IMSA** ミシュラン・パイロット・チャレンジ (**IMPC**) で勝利を収めており、今週末のフォックス・ファクトリー**120** レースではフランク・デピュー (米国) とロビン・リデル (英国) がドライバーを務めます。

アストンマーティンのパートナーである **Team TGM** とドライバーのマット・プラム (米国) は、**GS** クラスのチームおよびドライバーズランキングで **110** ポイントの差をつけて首位に立っており、レースの勝者には最大 **350** ポイントが付与されます。一方、アストンマーティンもマニュファクチャラーランキングで **2** 位に **70** ポイントの差をつけてトップの座をキープしています。**Team TGM** がタイトルを獲得した場合 (金曜日の **2** 時間レースで **6** 位以上に入賞すればタイトル獲得が決まります)、先代のアストンマーティン **Vantage GT4** がクラスタイトルを獲得した **2020** 年以降、**3** 度目となります。

これ以外にも、**4** 台の前世代の **Vantage** が **AMR** パートナーである **Archangel Motorsports**、**Team TGM**、および **Van Der Steur Racing** のもと、レースに参戦します。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは次のように述べています。「アストンマーティン **Vantage GT3** にとって、非常に素晴らしいデビューシーズンとなりました。すでに、参戦した重要なレースのすべてで勝利を収めているほか、北米での耐久レースシーズンが最終戦を迎える中、世界的なスポーツカーレーシングにおいて最も重要なクラス優勝のひとつである **IMSA** の **GTD Pro** クラスでもタイトルを狙っています。今シーズンが始まった時、**Vantage GT3** はパートナーに非常に大きなポテンシャルをもたらすことのできる車だと思っていました。どのレーシングカーにも言えることですが、その可能性の最大限を引き出すためには、パフォーマンスを引き出してくれるチームとドライバーが必要です。北米、そして世界レベルで幾度も競争力の高さを証明してきた **Heart of Racing** と共に戦えることを幸運に思っています。**Heart of Racing** のチーム全体に今週末の幸運をお祈りしています。また、先代 **Vantage GT3** でこの **5** 年で **3** 度目となる **IMSA** ミシュラン・パイロット・チャレンジのドライバーおよびチームタイトルを目指す **Team TGM** の成功も祈っています。」

フォックス・ファクトリー**120** レース開始は、現地時間の **10** 月 **11** 日 (金) **12** 時 **45** 分 (**EDT** (東部夏時間)、**GMT+4** 時間) です。**2024** 年モチュール・プチ・ル・マンの公式練習開始は **10** 月 **10** 日 (木) の **10** 時 **40** 分 (**EDT**)、レースは **10** 月 **12** 日 (土) の **12** 時 **10** 分 (**EDT**) です。詳細は **IMSA** の公式ウェブサイトと公式アプリでご確認ください。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-KOqdlgHceT>

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda

Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific

有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

Marketing & Communications Manager-Japan

松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp